

令和4年3月9日
国立研究開発法人防災科学技術研究所
国立大学法人東北大学

レジリエントな社会の実現に向けた総合知の国際的学術研究拠点の 形成に向け「連携及び協力の基本協定」を締結

国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長：林 春男）と国立大学法人東北大学（総長：大野 英男）は、防災に係る開かれた研究及び教育の拠点構築を通じて、国難級災害を乗り越えるレジリエントな社会の実現に資する知の創出と多様な価値創造を図ることを目的として、連携及び協力の推進に関する基本協定を締結しましたので、お知らせ致します。

1. 概要（詳細は別紙資料）

国立研究開発法人防災科学技術研究所と国立大学法人東北大学は、国際社会、国民、地域及び社会のニーズなどを踏まえ、相互に協力可能な全ての分野において、これまでの両機関間の連携及び協力で得た蓄積（※）を生かし、それぞれの研究、教育及び人材育成などの具体的な連携及び協力を互惠の精神に基づき効果的に実施します。具体的には、両機関の強みを生かした「総合知」による「国際的学際研究拠点」を形成し、複雑化する災害に対して、的確な予測、被害の最小化、復旧の早期化、より良い復興を目指した「レジリエンス」を向上させる研究、社会実装とこれを担う人材育成を進めていきます。

※これまで両機関で締結した連携及び協力に関する協定（今後も継続）

「国立大学法人東北大学大学院博士課程の教育研究への協力に関する協定書」

（防災科学技術研究所・東北大学大学院理学研究科、平成16年4月1日締結）

「国立研究開発法人防災科学技術研究所と東北大学災害科学国際研究所の連携と協力に関する協定」（防災科学技術研究所・東北大学災害科学国際研究所、平成29年2月1日締結）

2. 連携及び協力事項

(1) 共同研究等の研究協力、(2) 研究交流及び人材交流、(3) 教育及び人材育成、
(4) 研究施設及び設備の利用、(5) 産学官連携の推進 等

両機関で「連携推進協議会」を設置し、具体的な方針等を協議のうえで決定します。

3. 締結名義

国立研究開発法人防災科学技術研究所	理事長	林	春男
国立大学法人東北大学	総長	大野	英男

気候変動や社会構造の変化、パンデミックといった複雑化する「災害」に対して、的確な予測、被害の最小化、復旧の早期化、より良い復興を目指した「レジリエンス」を向上させる研究、社会実装とこれを担う人材育成を進めるため、両機関の強味を活かした「総合知」による「国際的学際研究拠点」を形成。

防災科学技術研究所

「生きる、を支える科学技術」の推進により
災害リスクが低減された社会の構築に貢献



東北大学

東日本大震災で得られた教訓・知見や世界に
先駆けて開拓してきた災害科学の新たな知を発信

被災地の総合大学として叡智を結集した
教育・研究環境、世界最先端の研究を実施

予測・予防・対応・回復の全てを対象とした
幅広い研究開発を実施（基礎・基盤的研究開発）

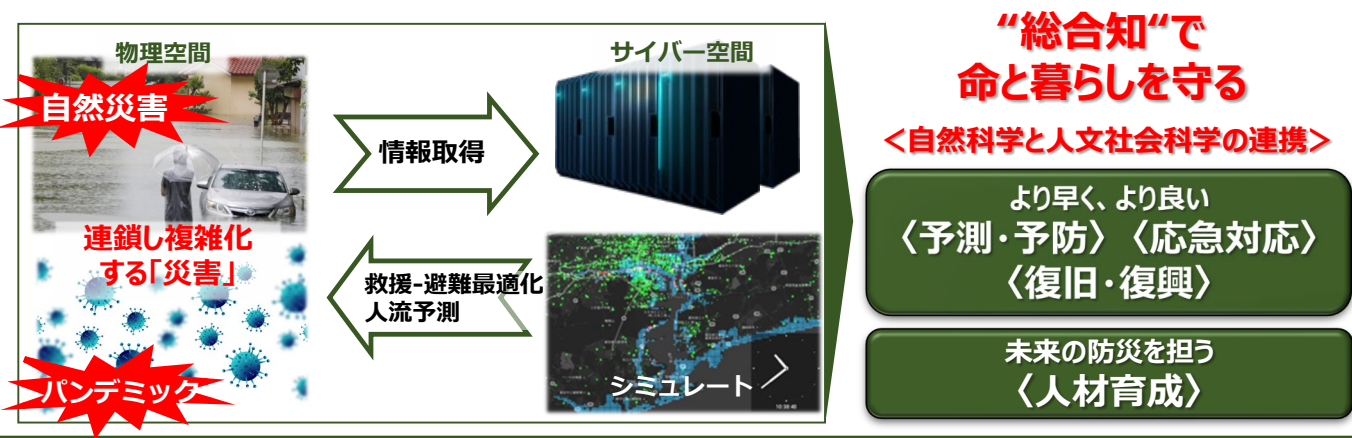
- ・組織を超えた共創
- ・社会変革をもたらす連携研究

ステークホルダーとの連携

防災・減災連携研究ハブ

デジタルツインによる総合知の創出・活用を目指す
国際的学際研究拠点形成

IoTなどでリアルタイムに情報を取得し、サイバー空間でリアルを再現し、
未来をシミュレートする新しい技術である「防災デジタルツイン」の構築に協働で取り組む



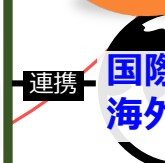
災害を乗り越える「レジリエントな社会」の実現



地域・社会
のニーズに
応える
研究開発



共同研究・
共同利用
拠点への発展



国際機関
海外大学



総合知に
基づく
政策提言



自治体



地域住民



研究成果を
社会へ還元、
社会実装

企業